

奈良県地域の交通安全サポート事業所



登録番号 17

(フリガナ)	(イッパンシャダンホウジン ニホンジドウシャレンメイ ナラシブ)
事業所名	一般社団法人 日本自動車連盟 奈良支部
所在地	〒630-8113 奈良市法蓮町383
電話番号	0742-90-0081
FAX	0742-90-0085
URL	http://www.jaf.or.jp/index.htm
活動の内容	(「交通安全サポート事業所等活動メニュー」のとおり。) 合計 30点
事業所等のPR等	JAFでは、社会貢献活動の一環として、自動車ユーザーをはじめ幼児や小中高生などすべての交通参加者を対象に、座学や実技による各種交通安全講習会の開催や講師派遣を行い、交通違反や交通事故を撲滅し、安全で安心な地域社会の発展に貢献すべく日々積極的に活動しております。

交通安全サポート事業所等活動メニュー

活動メニュー	活動点数 (合計加算)
A 地域における交通安全活動	
① 地域や自治体の交通安全行事に積極的に参加します。(少なくとも年2回以上)	1
② 地域の自治体・団体と連携し、立哨活動等の交通安全活動を行います。	2
③ 事業所等周辺のヒヤリハット体験を活かし、危険箇所等を道路管理者等へ情報を提供します。	1
B 地域の安全ボランティア活動への支援	
③ 地域の交通安全ボランティア団体等に資材置き場、活動場所等の拠点を提供します。	1
C 県内の交通安全県民運動(交通事故防止運動)における活動	
① 奈良県内の交通安全県民運動(交通事故防止運動)期間において(地域の交通安全活動団体と連携し)、積極的に交通安全を啓発する活動を行います。	2
③ 奈良県内の危険箇所等交通安全総点検を行い、道路管理者等へ情報を提供します。	1
D 各種イベントにおける啓発活動	
① 不特定多数が参加するイベントで、交通安全を啓発する活動を行います。	2
F 顧客に対する交通安全活動	
② 事業所等において、ドライバーに対して酒類を提供しないことを宣言します。(ハンドルキーパー運動への参加)	1
③ 顧客に対し、交通安全情報を提供します。(シートベルトの効果、運転中の携帯電話の危険性、自転車の安全な利用等)	2
G 従業員等の交通安全意識の向上	
② Eメール、交通事故速報、ポスター等様々な媒体による事業所等内広報を行います。	1
③ 事業所等用自動車に、「交通安全」、「安全運転宣言車」、「交通事故のないやすらぎの大和路づくり」等のステッカーやシールを貼付して走行します。	3

④	後部座席を含め、全ての座席のシートベルトの着用を事業所等で徹底します。	2
⑤	事業所等を挙げた交通安全キャンペーン(法定速度走行、飲酒運転の根絶等)を実施します。	2
⑥	従業員等に対し、交通事故の発生状況、交通事故防止対策等の情報を提供します。	1
⑦	事業所等において、飲酒運転の根絶宣言を行い、「飲酒運転根絶事業所」等であることを表示します。	2
H 従業員等に対する交通安全教育		
①	運転時の全席シートベルト着用の指導を徹底します。	2
②	夕暮れ時における早めのライト点灯の指導を徹底します。	2
③	事業所等で宴会等がある場合は、帰宅の方法について確認し、飲酒運転禁止を徹底します。	1
⑤	従業員に対し、自転車乗車時の、傘さし運転、イヤホン・ヘッドホン等の使用禁止を徹底します。	1
合計点数(7点以上)		30

(点数の基準)

- 1点すぐに実施できる比較的簡単なもの
- 2点実施するには一定の拘束時間や人手等を提供する必要があるもの
- 3点資金提供を行う等の負担がかかるもの

令和3年度活動内容	
21/04/11 センスアップスクール 葛城自動車学校	21/05/14 十津川第一小学校
	
21/05/26 広陵東小学校	21/11/20 防災フェスティバル
	
21/07/15 車庫入れセミナー JAF奈良支部	22/01/18 ドレミ公演 馬見労禱保育園
	

項目(交通安全活動)		活動概要
座学講習会	開催数46	企業や学校、自治体などからのご依頼により交通安全講習会の講師を派遣しています。講習は交通安全などについてオリジナルコンテンツに基づいておこないます。
	受講者数3981	
体験しながら学べる実技型講習会	開催数27	ドライバースeminar(一般コース、シニアコース)他、車庫入れ教室など、日常の運転を見直すきっかけ作りとして実施しています。
	受講者数111	
小・中・高等学校対象の交通安全活動	開催数11	自転車教室として、自転車の片手運転やスマホを使用しながら運転をおこなう危険性や、自動車の制動距離を確認する講習会をおこなっています。また、自動車の死角や灯火類の説明、シートベルト全席着用の啓発を同時におこなっています。
	受講者数2351	
幼児対象の交通安全活動	開催数15	JAF交通安全ドレミぐるーぶにより、園児や保護者を対象に音楽や紙芝居を通じて交通ルールを守ることの大切さを楽しみながらわかりやすく伝え、加えて子ども安全免許証も作成し、交通事故の防止に役立てる活動をおこなっています。
	受講者数1188	
シートベルト着用の啓発活動などの交通安全イベント	開催数82	ショッピングモールや道の駅などで交通安全イベントを開催しています。交通安全クイズに答えてもらえる「子ども安全免許証」、時速5kmの衝突体験ができる「シートベルトコンビンサー」、ゲーム感覚で俊敏性を確認できる「クイックアーム・クイックキャッチ」などのツールを活用しています。また、奈良県警察と連携した活動も展開しています。また、イオンモール大和郡山店では定期的な開催(毎月第4日曜日)も実施させていただいています。
	体験者数7366	
「信号機のない横断歩道」における歩行者優先の実態調査を実施		調査は奈良県内の2箇所で行われ、信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両を対象におこなったところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は28.1%(前年より9.1ポイント増)という結果となりました。これは、全国平均30.6%に対して2.5%下回る数字です。依然として約7割のクルマが止まらないことがわかっています。 JAFではレッカー車全車に「横断歩道 歩行者優先！」のマグネットステッカーを貼付し、意識の向上を図っています。
「シートベルト着用状況全国調査」を実施		奈良県内19箇所で行ったところ、後部座席(以下、後席)でのシートベルト着用率は、一般道路で54.7%(前年比0.1ポイント増)、高速道路等は80.8%(前年比3.6ポイント増)でした。 一方で、運転席の着用率は一般道路で99.2%(前年比0.1ポイント減)、高速道路等で99.2%(前年比0.1ポイント減)、助手席においてもそれぞれ90%を超える結果となりました。 後席着用率は微増したものの、一般道路と高速道路等では着用率に約2倍の差がある等、依然として一般道路の着用率の低さが後席シートベルト着用の重要性や非着用の危険性が十分に認識されていないことを示す結果となりました。
道路交通環境の改善活動 (JAF奈良支部交通安全実行委員会)	開催数1	日常生活の中で危険や不便を感じている標識など改善が望まれる道路について、ドライバーから募った意見をもとにその内容を調査・検討した上で道路管理者や関係機関などに改善提案をおこなっています。
	審議数4	
総開催数: 182回・総受講(体験)者数: 14,997名		

令和2年度活動内容		
項目(交通安全活動)		活動概要
座学講習会	開催数49	企業や学校、自治体などからのご依頼により交通安全講習会の講師を派遣しています。講習は交通安全やエコドライブなどについてオリジナルコンテンツに基づいておこないます。
	受講者数3367	
体験しながら学べる実技型講習会	開催数55	ドライバーズセミナー(一般コース、シニアコース)女性を対象とした車庫入れ教室など、日常の運転を見直すきっかけ作りとして実施しています。また、自動車販売店の協力もいただきASV(先進安全自動車)の体験をおこない正しい理解と啓発をおこなっています。
	受講者数119	
小・中・高等学校対象の交通安全活動	開催数3	自転車教室として、自転車の片手運転やスマホを使用しながら運転をおこなう危険性や、自動車の制動距離を確認する講習会をおこなっています。また、自動車の死角や灯火類の説明、シートベルト全席着用の啓発を同時におこなっています。
	受講者数395	
幼児対象の交通安全活動	開催数11	JAF交通安全ドレミぐるーぶにより、園児や保護者を対象に音楽や紙芝居を通じて交通ルールを守ることの大切さを楽しみながらわかりやすく伝え、加えて子ども安全免許証も作成し、交通事故の防止に役立てる活動をおこなっています。
	受講者数925	
シートベルト着用の啓発活動などの交通安全イベント	開催数101	ショッピングモールや道の駅などで交通安全イベントを開催しています。交通安全クイズに答えてもらえる「子ども安全免許証」、時速5kmの衝突体験ができる「シートベルトコンビンサー」、ゲーム感覚で俊敏性を確認できる「クイックアーム・クイックキャッチ」などのツールを活用しています。また、奈良県警察と連携した活動も展開しています。また、イオンモール大和郡山店では定期的な開催(毎月第4日曜日)も実施させていただいています。
	体験者数6113	
「信号機のない横断歩道」における歩行者優先の実態調査を実施		調査は奈良県内の2箇所で開催し、信号機が設置されていない横断歩道を通る車両を対象におこなったところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は19.0%(前年より2.9ポイント増)という結果となりました。これは、全国平均21.3%に対して2.3%下回る数字です。依然として約8割のクルマが止まらないことがわかっています。 JAFではレッカー車全車に「横断歩道 歩行者優先！」のマグネットステッカーを貼付し、意識の向上を図っています。
「シートベルト着用状況全国調査」を実施		奈良県内19箇所で開催したところ、後部座席(以下、後席)でのシートベルト着用率は、一般道路で54.6%(前年比9.5ポイント増)、高速道路等は84.4%(前年比12.4ポイント増)でした。 一方で、運転席の着用率は一般道路で99.1%(前年比0.1ポイント減)、高速道路等で99.3%(前年比0.4ポイント減)、助手席においてもそれぞれ90%を超える結果となりました。 後席着用率は微増したものの、一般道路と高速道路等では着用率に約2倍の差がある等、依然として一般道路の着用率の低さが後席シートベルト着用の重要性や非着用の危険性が十分に認識されていないことを示す結果となりました。
道路交通環境の改善活動 (JAF奈良支部交通安全実行委員会)	開催数1	日常生活の中で危険や不便を感じている標識など改善が望まれる道路について、ドライバーから募った意見をもとにその内容を調査・検討した上で道路管理者や関係機関などに改善提案をおこなっています。
	審議数8	
総開催数: 219回・総受講(体験)者数: 10,919名		